
いろいろな色のクマ

ダッフィー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いろいろな色のクマ

【Nコード】

N7221F

【作者名】

ダッフィー

【あらすじ】

昔、ある深い森の奥にいろいろな色のクマがいました。人間に見つかってしまったからの、クマ達の運命は？

昔、深い森の奥にいろんな色のクマがいました。

赤い色のクマ、黄色のクマ、

黒いクマ、茶色のクマ、白いクマの5匹がいました。

みんな仲が良く、人間達にも気付かれることなく
毎日楽しく暮らしていました。

黒いクマと白いクマとの間には赤ちゃんが出来ました。

生まれてきたクマは白と黒の部分があるクマでした。

全部で6匹のクマになりました。

ある日、そのクマ達が人間に見つかってしまいました。

人間は黒と茶色のクマしか今まで見たことがなかったの
でその他の色のクマを見つけると、最初はすごく驚きました。

けれど『このクマ達は金儲けになる』と考えたのです。

まず捕まってしまったのは、黄色のクマでした。

黄色のクマは外国の遊園地に売り飛ばされました。

でも実は遊園地で人気者になっていたのです。

黄色のクマのキャラクターグッズも作られて
それも飛ぶように売れました。

次に捕まったのは、白と黒の部分がある赤ちゃんのクマでした。

このクマは遠い所にある動物園に売られて
人間達の見せ物にされました。

でも動物園の一番人気になりました。

ご飯もいっぱいもらえました。

その次に捕まってしまったのは、白いクマでした。

白いクマは氷だらけの寒い場所に連れていかれました。

人間達は

「寒い！寒い！」

と言ってほとんど帰ってしまったので

白いクマはそこでのんびり暮らすことになりました。

黒いクマと茶色のクマはよくいるクマだったので
人間達も捕まえませんでした。

なのでそのまま森で暮らすことが出来ました。

残るは赤いクマです。

人間達は必死になって、赤いクマを探しましたが
見つけれませんでした。

赤いクマは今でもどこかで暮らしています。

もしかしたら人間を恨んでいるかもしれせん。

もしかしたらひっそり幸せになっているのかもしれせん。

もし見かけても、そっとしておいてあげてくださいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7221f/>

いろいろな色のクマ

2010年12月17日02時49分発行